



リモート接続先プロファイル

[一括管理 (Bulk Administration)] メニューを使用すると、Remote Destination Profile (RDP; リモート接続先プロファイル) を一括してフォーマット、挿入、削除、エクスポートできます。Cisco Unified Communications Manager の管理ページを通じて個々に更新する必要はありません。

リモート接続先プロファイル テンプレート

リモート接続先プロファイル テンプレートを使用して、デバイス プール、ロケーション、コーディング サーチ スペース、プレゼンス グループ、プライバシー情報など、リモート接続先に共通のアトリビュートを定義できます。

次のトピックを使用して、BAT リモート接続先プロファイル テンプレートに関する作業を行います。

- リモート接続先プロファイルテンプレートの検索 (P.58-1)
- リモート接続先プロファイルテンプレートの作成 (P.58-3)
- リモート接続先プロファイルテンプレートの回線の追加または更新 (P.58-3)
- リモート接続先プロファイルテンプレートの削除 (P.58-4)

リモート接続先プロファイル テンプレートの検索

複数の Remote Destination Profile (RDP; リモート接続先プロファイル) テンプレートに対応できるように、Cisco Unified Communications Manager では、特定の条件に基づいて特定のテンプレートを見つけることができます。テンプレートを見つける手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profiles)] > [リモート接続先プロファイルテンプレート (Remote Destination Profile Template)] の順に選択します。

[リモート接続先プロファイルテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile Templates)] ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、テンプレートを検索します。

ステップ 2 最初の [検索対象: UDP テンプレート、検索条件 (Find UDP Template where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

■ リモート接続先プロファイル テンプレート

- [名前 (Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]

2 番目の[**検索 リモート接続先プロファイル、検索条件:(Find Remote Destination Template where)**] ドロップダウンリストボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる (begins with)]
- [が次の文字列を含む (contains)]
- [が次の文字列で終わる (ends with)]
- [が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [が空である (is empty)]
- [が空ではない (is not empty)]

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定し、[**検索 (Find)**] をクリックします。



ヒント データベースに登録されているすべてのリモート接続先テンプレートを検索するには、検索テキストを入力せずに [**検索 (Find)**] をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [テンプレート名 (Template name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件に一致するテンプレート名をクリックします。

[リモート接続先プロファイルテンプレートの設定 (Remote Destination Profile Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

その他の情報

詳細については、P.58-31 の「[関連項目](#)」を参照してください。

リモート接続先プロファイル テンプレートの作成

リモート接続先プロファイルを一括して追加するためのテンプレートを作成する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profiles)] > [リモート接続先プロファイルテンプレート (Remote Destination Profile Template)] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。[リモート接続先プロファイルテンプレートの設定 (Remote Destination Profile Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** 表示されたフィールドに設定の詳細を入力します。詳細については、[P.58-5](#) の「[リモート接続先プロファイルテンプレートのフィールドの説明](#)」を参照してください。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 5** トランザクションが完了したことがステータスに示されたら、回線アトリビュートを追加することができます。

その他の情報

詳細については、[P.58-31](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

リモート接続先プロファイル テンプレートの回線の追加または更新

次の手順を実行すると、BAT テンプレートに複数の回線を追加したり、既存の回線を更新したりすることができます。

手順

- ステップ 1** [P.58-1](#) の「[リモート接続先プロファイル テンプレートの検索](#)」の手順に従って、回線を追加する RDP テンプレートを検索します。
- ステップ 2** [リモート接続先プロファイルテンプレートの設定 (Remote Destination Profile Template Configuration)] ウィンドウの [割り当て情報 (Association Information)] 領域で、[回線 [1] - 新規 DN を追加 (Line [1] Add a new DN)] をクリックします。
- ステップ 3** [表 58-2](#) で説明されている回線設定値に対して、適切な値を入力または選択します。この回線用に選択する設定値は、このバッチ内のすべての RDP で使用されます。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。

BAT によって、回線が電話機テンプレート設定に追加されます。
- ステップ 5** その他の回線の設定値を追加するには、[ステップ 2](#) ~ [ステップ 4](#) を繰り返します。



(注) [回線テンプレートの設定 (Line Template Configuration)] ウィンドウの右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスから [検索 / リストに戻る (Back to Find/List)] を選択すると、[電話番号の検索と一覧表示 (Find and List Directory Numbers)] ウィンドウが表示されます。既存の回線テンプレートを検索するには、適切な検索条件を入力して、[検索 (Find)] をクリックします。新しい回線テンプレートを追加するには、[回線テンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Line Templates)] ウィンドウで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。

回線テンプレートには、英数字を使用することをお勧めします。番号を指定すると、実際の電話番号と競合する可能性があるためです。英数字を使用することで、コール ピックアップ グループ番号やコール パーク番号などの情報との競合も回避できます。

その他の情報

詳細については、P.58-31 の「関連項目」を参照してください。

リモート接続先プロフィール テンプレートの削除

RDP テンプレートが不要になった場合は、削除することができます。テンプレートを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.58-1 の「リモート接続先プロフィール テンプレートの検索」の手順に従って、削除する RDP テンプレートを検索します。

ステップ 2 [リモート接続先プロフィールテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile Templates)] ウィンドウで、削除するテンプレートの横のチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

削除操作を確認するように求めるメッセージが表示されます。

ステップ 3 [OK] をクリックして、テンプレートを削除します。[リモート接続先プロフィールテンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile Templates)] ウィンドウのテンプレートのリストから、テンプレート名が消去されます。



注意

特定の RDP テンプレートを使用するジョブを送信し、そのテンプレートを削除すると、ジョブも削除されます。

その他の情報

詳細については、P.58-31 の「関連項目」を参照してください。

リモート接続先プロファイル テンプレートのフィールドの説明

表 58-1 では、リモート接続先プロファイルテンプレートのフィールドについて説明します。



(注)

BAT ユーザ インターフェイスでは、アスタリスクが付いているフィールドには値を入力する必要があります。アスタリスクの付いていないフィールドはオプションです。

表 58-1 リモート接続先プロファイル テンプレートのフィールドの説明

フィールド	説明
[テンプレート名 (Template name)]	テンプレート名を入力します。
[説明 (Description)]	作成する RDP テンプレートの説明を入力します。
[ユーザ ID (User ID)]	Cisco Unified Communications Manager ユーザ ID を入力します。
[デバイスプール (Device Pool)]	このグループの RDP 用のデバイス プールを選択します。
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	このグループの RDP のコーリング サーチ スペースを選択します。 コーリング サーチ スペースは、ルート パーティションの集合を指定するものです。ルート パーティションの集合は、ダイヤルされた番号のルーティング方法を決定するために検索されます。
[メディアリソースリスト (Media Resource List)]	このグループの RDP 用のメディア リソース グループ リスト (MRGL) を選択します。 MRGL は、優先順位が付けられたメディア リソース グループのリストを指定します。アプリケーションは、MRGL に定義されている優先順位に従って、使用可能なメディア リソースの中から、必要なメディア リソースを選択できます。
[ユーザ保留音源 (User Hold Audio Source)]	このグループの RDP のユーザ保留オーディオ ソースを選択します。 ユーザ保留オーディオ ソースは、ユーザがコールを保留にしたときに再生される音楽のオーディオ ソースを特定します。
[ネットワーク保留 MOH 音源 (Network Hold MOH Audio Source)]	システムがコールを保留にするとき (たとえば、ユーザがコールを転送する間や電話会議またはコール パークを開始する間) に再生される保留音オーディオ ソースを選択します。
[ロケーション (Location)]	このグループの RDP の適切なロケーションを選択します。 ロケーションは、このロケーションの着信コールおよび発信コールに使用可能な合計帯域幅を指定します。ロケーションを [None] に設定すると、ロケーション機能がこのデバイスの消費する帯域幅を管理しないことを示します。

表 58-1 リモート接続先プロフィール テンプレートのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[ユーザロケール (User Locale)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、電話機ユーザ インターフェイスに関連付けられたロケールを選択します。ユーザ ロケールは、言語およびフォントなどのユーザをサポートする詳細情報のセットを識別します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager では、このフィールドは、ローカリゼーションをサポートしている電話機モデルにのみ使用可能になります。</p> <p> (注) ユーザ ロケールが指定されていない場合、Cisco Unified Communications Manager はデバイス プールと関連付けられたユーザ ロケールを使用します。</p> <p> (注) (電話機に) 英語以外の言語で情報を表示する必要がある場合、ユーザ ロケールを設定する前に Locale Installer をインストールして、確認します。Cisco Unified Communications Manager の Locale Installer のマニュアルを参照してください。</p>
[プライバシー (Privacy)]	<p>[プライバシー (Privacy)] ドロップダウン リスト ボックスで、[オン (On)]、[オフ (Off)]、または [デフォルト (Default)] を選択します。</p> <p>設定情報の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」を参照してください。</p>
[プレゼンスグループ (Presence Group)]	<p>RDP によってプレゼンス エンティティのステータスを受信するには、電話番号に適用されるプレゼンス グループのステータスを [プレゼンスグループの設定 (Presence Group Configuration)] ウィンドウに示されるとおり表示するよう許可されているプレゼンス グループを選択します。</p> <p> ヒント プレゼンス機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。</p>
[コーリングサーチスペースの再ルーティング (Rerouting Calling Search Space)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、再ルーティングに使用するコーリング サーチ スペースを選択します。</p> <p>参照側の再ルーティング用コーリング サーチ スペースが、参照側からターゲットへのルート検索に使用されます。コーリング サーチ スペースの再ルーティングが原因で参照操作に失敗した場合、参照プリミティブは、要求を拒否して「405 Method Not Allowed」というメッセージを返します。</p> <p>リダイレクション (3xx) プリミティブおよび転送機能も、再ルーティング用コーリング サーチ スペースを使用して、リダイレクトからまたは転送からターゲットへのルートを検索します。</p>

表 58-1 リモート接続先プロファイル テンプレートのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ)]	このチェックボックスをオンにすると、Cisco Unified Communications Manager では、内線コールのために受信したすべての表示が無視されます。

その他の情報

詳細については、P.58-31 の「関連項目」を参照してください。

リモート接続先プロファイル テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明

表 58-2 では、BAT RDP テンプレートに回線を追加する場合に表示されるフィールドすべてについて説明します。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定された値を表示するフィールドもあります。



(注)

BAT ユーザ インターフェイスでは、アスタリスクが付いているフィールドには値を入力する必要があります。アスタリスクの付いていないフィールドはオプションです。

表 58-2 リモート接続先プロファイル テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明

フィールド	説明
[電話番号情報 (Directory Number Information)]	
[回線テンプレート名 (Line Template Name)]	回線テンプレートの一意の名前を入力します。
[ルートパーティション (Route Partition)]	電話番号が属するルートパーティションを選択します。  (注) 電話番号は複数のパーティションに現れる可能性があります。
[説明 (Description)]	回線テンプレートの説明を入力します。
[呼び出し表示 (Alerting Name)]	共有電話番号に対するアラート中に表示される名前を表します。非共有電話番号の場合、アラート時には [表示 (Display)] フィールドに入力された名前が使用されます。
[ASCII 呼び出し表示 (ASCII Alerting Name)]	このフィールドには、[呼び出し表示 (Alerting Name)] フィールドと同じ情報が表示されますが、入力を ASCII 文字に制限する必要があります。Unicode (国際化) 文字をサポートしないデバイスでは、[ASCII 呼び出し表示 (ASCII Alerting Name)] フィールドの内容が表示されます。

表 58-2 リモート接続先プロフィール テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[アクティブ (Active)]	このチェックボックスを [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウで表示するには、[ルートプランレポート (Route Plan Report)] ウィンドウから未割り当ての電話番号にアクセスします。このチェックボックスをオンにすると、この DN へのコールを転送できます (転送が設定されている場合)。チェックボックスがオフの場合、DN は Cisco Unified Communications Manager で無視されます。
[電話番号の設定 (Directory Number Settings)]	
[ボイスメールプロフィール (Voice Mail Profile)]	パイロット番号をこの回線の電話番号と同じにするには、このパラメータを選択します。この機能は、この電話機に対してボイスメッセージサーバが設定されていない場合に役立ちます。
[コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	この電話番号から呼び出される番号を検索するパーティションを選択します。  (注) このフィールドに変更を加えると、[コールピックアップグループ (Call Pickup Group)] フィールドのリストに表示されるピックアップグループ名が更新されます。この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
[プレゼンスグループ (Presence Group)]	プレゼンス機能で使用すると、電話番号がプレゼンス エンティティとして機能します。つまり、ウォッチャーが電話番号のステータスを要求すると、電話番号のステータスがリアルタイムにデバイスに表示されます。 電話機によってプレゼンス エンティティのステータスを受信するには、ウォッチャーのプレゼンス グループが、電話番号に適用されるプレゼンス グループのステータスを、[プレゼンスグループの設定 (Presence Group Configuration)] ウィンドウに示されるとおりに表示するよう許可されていることを確認します。 プレゼンス機能については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。
[AAR グループ (AAR Group)]	このデバイスの自動代替ルーティング (AAR) グループを選択します。AAR グループはプレフィックス番号を提供するものです。プレフィックス番号は、帯域幅不足のために本来ならブロックされるコールをルーティングするために使用します。 AAR グループを [なし (None)] に設定すると、ブロックされたコールの再ルーティングは行われません。
[ユーザ保留音源 (User Hold Audio Source)]	ユーザが [保留] ボタンを押してコールを保留にするとときに再生される保留音オーディオ ソースを選択します。
[ネットワーク保留音源 (Network Hold Audio Source)]	システムがコールを保留にするとき (たとえば、ユーザがコールを転送する間や電話会議またはコール パークを開始する間) に再生される保留音オーディオ ソースを選択します。

表 58-2 リモート接続先プロファイル テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[コール転送とコールピックアップの設定 (Call Forward and Call Pickup Settings)]	
[不在転送 (Forward All)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>コールをボイスメールプロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、[不在転送 (Forward All)] の [着信先別 (Destination)] フィールドと [不在転送 (Forward All)] の [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
[不在転送 (Forward All)] の [着信先別 (Destination)]	<p>すべてのコールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[不在転送 (Forward All)] の [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>コールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[不在転送の二次コーリングサーチスペース (Secondary Calling Search Space for Forward All)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスからセカンダリ コーリングサーチスペース (CSS) を選択します。</p> <p>コール転送は回線ごとの機能なので、デバイスのコーリングサーチスペースが不明な場合は、回線のコーリングサーチスペースを使用してコールが転送されます。回線のコーリングサーチスペースが制限的またはルーティング不能な場合、転送の試行が失敗します。</p> <p>不在転送の二次コーリングサーチスペースを追加すると、転送のためのソリューションとなります。不在転送の一次コーリングサーチスペースと、不在転送の二次コーリングサーチスペースは、不在転送を処理するときに連結されます (一次 CFA CSS + 二次 CFA CSS)。Cisco Unified Communications Manager は、この組み合わせを使用して、CFA の宛先を検証し、コールを転送します。</p>
[話中転送 (Forward Busy Internal、内部)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>内部番号からのコールをボイスメールプロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、[話中転送 (Forward Busy Internal、内部)] の [着信先別 (Destination)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
[話中転送 (Forward Busy Internal、内部)] の [着信先別 (Destination)]	<p>回線が使用中のときに内線コールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の内部電話番号、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>

表 58-2 リモート接続先プロフィール テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[話中転送 (Forward Busy Internal、内部)] の [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>内線コールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[話中転送 (Forward Busy External、外部)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>外部番号からのコールをボイスメールプロフィールで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、[話中転送 (Forward Busy External、外部)] の [着信先別 (Destination)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
[話中転送 (Forward Busy External、外部)] の [着信先別 (Destination)]	<p>回線が使用中のときに外線コールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の外部電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[話中転送 (Forward Busy External、外部)] の [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>外線コールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[無応答時転送 (Forward No Answer Internal、内部)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>内部番号からのコールをボイスメールプロフィールで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、[無応答時転送 (Forward No Answer Internal、内部)] の [着信先別 (Destination)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
[無応答時転送 (Forward No Answer Internal、内部)] の [着信先別 (Destination)]	<p>電話機が応答しない場合に、内線コールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の内部電話番号、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[無応答時転送 (Forward No Answer Internal、内部)] の [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>内線コールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定値は、システム内で設定されている場合だけ、表示されます。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>

表 58-2 リモート接続先プロファイル テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[無応答時転送 (Forward No Answer External、外部)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>コールをボイスメールプロファイルで選択した外部番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、[無応答時転送 (Forward No Answer External、外部)] の [着信先別 (Destination)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
[無応答時転送 (Forward No Answer External、外部)] の [着信先別 (Destination)]	<p>電話機が応答しない場合に、外線コールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の外部電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[無応答時転送 (Forward No Answer External、外部)] の [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>外線コールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定値は、システム内で設定されている場合だけ、表示されます。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[カバレッジなし時転送 (Forward No Coverage Internal、内部)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>内部番号からのコールをボイスメールプロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、無応答時転送の [着信先別 (Destination)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>
[カバレッジなし時転送 (Forward No Coverage Internal、内部)] の [着信先別 (Destination)]	<p>電話機のカバレッジが対応しない場合に、内線コールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の内部電話番号、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[カバレッジなし時転送 (Forward No Coverage Internal、内部)] の [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>内線コールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定値は、システム内で設定されている場合だけ、表示されます。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[カバレッジなし時転送 (Forward No Coverage External、外部)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>外部番号からのコールをボイスメールプロファイルで選択した番号に転送する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、無応答時転送の [着信先別 (Destination)] フィールドと [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] チェックボックスでの指定内容は無効になります。</p>

表 58-2 リモート接続先プロフィール テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[カバレッジなし時転送 (Forward No Coverage External、外部)] の [着信先別 (Destination)]	<p>電話機のカバレッジが対応しない場合に、外線コールが転送される先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) この設定値は、ダイヤル可能な任意の電話番号 (制限されていない限り、外部の宛先を含む)、およびこの電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[カバレッジなし時転送 (Forward No Coverage External、外部)] の [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>外線コールが指定された宛先に転送されるときに使用するコーリングサーチスペースを選択します。この設定値は、システム内で設定されている場合だけ、表示されます。</p> <p> (注) この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p>
[CTI 障害時転送 (Forward on CTI Failure)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>[CTI 障害時転送 (Forward on CTI Failure)] フィールドは、CTI ルートポイントおよび CTI ポートのみ適用されます。この行の設定は、CTI ルートポイントまたは CTI ポートが失敗した場合に、この CTI ルートポイントまたは CTI ポートへの外線コールの転送をどのように扱うかを指定します。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、[ボイスメールプロフィールの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの設定が使用されます。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、Cisco Unified Communications Manager では、[着信先別 (Destination)] ボックスおよび [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] の設定が無視されます。内線コールでこのチェックボックスをオンにすると、外線コールの [ボイスメール (Voice Mail)] チェックボックスが自動的にオンになります。外線コールをボイスメッセージシステムに転送しない場合、外線コールの [ボイスメール (Voice Mail)] チェックボックスをオフにする必要があります。</p>
[CTI 障害時転送 (Forward on CTI Failure)] の [着信先別 (Destination)]	<p>この設定は、電話番号を制御するアプリケーションが失敗した場合に、接続されなかった内線コールが転送される電話番号を指定します。外部の電話番号を含め、ダイヤル可能な任意の電話番号を使用します。</p> <p>内線コールの宛先の値を入力すると、外線コールの [着信先別 (Destination)] フィールドにこの値が自動的にコピーされます。外線コールを別の宛先に転送する場合は、外線コールの [着信先別 (Destination)] フィールドに別の値を入力する必要があります。</p>
[CTI 障害時転送 (Forward on CTI Failure)] の [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]	<p>この設定値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p> <p>内線コールの CSS を選択すると、外線コールの CSS 設定にこの値が自動的にコピーされます。外線コールを別のコーリングサーチスペースに転送する場合は、外線コールの CSS に別の設定値を選択する必要があります。</p>

表 58-2 リモート接続先プロファイル テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[無応答時の呼び出し時間 (No Answer Ring Duration、秒)]	コールが呼び出し音を送り、応答を待つ時間 (秒数) を入力します。この時間内に応答がないと、無応答時の転送着信先にコールを転送します。
[コールピックアップグループ (Call Pickup Group)]	コール ピックアップ グループ名を選択してコール ピックアップグループを指定します。コール ピックアップグループでは、該当のピックアップグループ番号をダイヤルすることにより、この電話番号への着信コールに応答することができます。
[未登録内線の不在転送 (Forward Unregistered Internal)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>この行の設定は、登録済みのデバイスがない電話番号にルーティングされた内線コールの転送をどのように扱うかを指定します。</p> <p>[ボイスメールプロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの設定を使用するには、[ボイスメール (Voice Mail)] チェックボックスをオンにします。</p> <p> (注) このチェックボックスをオンにすると、Cisco Communications Manager では、カバレッジまたは着信先のボックスおよび [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] の設定が無視されます。内線コールでこのチェックボックスをオンにすると、外線コールの [ボイスメール (Voice Mail)] チェックボックスが自動的にオンになります。外線コールをボイス メッセージ システムに転送しない場合、外線コールの [ボイスメール (Voice Mail)] チェックボックスをオフにする必要があります。</p>
[未登録内線の不在転送 (Forward Unregistered Internal)] の [着信先別 (Destination)]	<p>外部の電話番号を含め、ダイヤル可能な任意の電話番号を入力します。</p> <p> (注) 内線コールのカバレッジまたは宛先の値を入力すると、外線コールのカバレッジまたは着信先のフィールドにこの値が自動的にコピーされます。外線コールを別の宛先に転送する場合は、外線コールのカバレッジまたは着信先のフィールドに別の値を入力する必要があります。</p>
[未登録内線の不在転送 (Forward Unregistered Internal)] の [CSS]	<p>ドロップダウン リスト メニューからコーリング サーチ スペースを選択します。この設定値は、上記のフィールドで選択した電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p> <p> (注) 内線コールの CSS を選択すると、外線コールの CSS 設定にこの値が自動的にコピーされます。外線コールを別のコーリング サーチ スペースに転送する場合は、外線コールの CSS に別の設定値を選択する必要があります。</p>

表 58-2 リモート接続先プロフィール テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[未登録外線の不在転送 (Forward Unregistered External)] の [ボイスメール (Voice Mail)]	<p>この行の設定は、登録済みのデバイスがない電話番号にルーティングされた外線コールの転送をどのように扱うかを指定します。次の値を指定します。</p> <p>[ボイスメールプロフィールの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの設定を使用するには、[ボイスメール (Voice Mail)] チェックボックスをオンにします。</p> <p> (注) このチェックボックスをオンにすると、Cisco Communications Manager では、カバレッジまたは着信先のボックスおよび [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] の設定が無視されます。外線コールでこのチェックボックスをオンにすると、外線コールの [ボイスメール (Voice Mail)] チェックボックスが自動的にオンになります。外線コールをボイス メッセージ システムに転送しない場合、外線コールの [ボイスメール (Voice Mail)] チェックボックスをオフにする必要があります。</p>
[未登録外線の不在転送 (Forward Unregistered External)] の [着信先別 (Destination)]	<p>外部の電話番号を含め、ダイヤル可能な任意の電話番号を入力します。</p> <p> (注) 外線コールのカバレッジまたは宛先の値を入力すると、外線コールのカバレッジまたは着信先のフィールドにこの値が自動的にコピーされます。外線コールを別の宛先に転送する場合は、外線コールのカバレッジまたは着信先のフィールドに別の値を入力する必要があります。</p>
[未登録外線の不在転送 (Forward Unregistered External)] の [CCS]	<p>ドロップダウン リスト ボックスからコーリング サーチ スペースを選択します。この設定値は、上記のフィールドで選択した電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。</p> <p> (注) 外線コールの CSS を選択すると、外線コールの CSS 設定にこの値が自動的にコピーされます。外線コールを別のコーリング サーチ スペースに転送する場合は、外線コールの CSS に別の設定値を選択する必要があります。</p>
[MLPP 代替パーティの設定 (MLPP Alternate Party Settings)]	
[転送先 (Target、着信先)]	<p>この電話番号が優先コールを受信したが、その番号もそのコール転送先もその優先コールに応答しない場合に、MLPP 優先コールが向けられる先の番号を入力します。</p> <p>値は数字、シャープ (#)、およびアスタリスク (*) を含めることができます。</p>
[MLPP コーリングサーチスペース (MLPP Calling Search Space)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、代替パーティ ターゲット (宛先) 番号に関連付けるコーリング サーチ スペースを選択します。</p>

表 58-2 リモート接続先プロファイル テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[MLPP 無応答時の呼び出し時間 (MLPP No Answer Ring Duration、秒)]	<p>優先コールに対してこの電話番号とそのコール転送先が応答するのを待つ時間 (4 ~ 30 秒) を入力します。この時間内に応答がないと、MLPP 優先コールはこの電話番号の代替パーティに向けて送られます。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager エンタープライズ パラメータの Precedence Alternate Party Timeout で設定されている値を使用する場合は、この設定をブランクのままにします。</p>
[デバイスの回線 (Line on Device)]	
[保留復帰の呼び出し時間 (Hold Reversion Ring Duration、秒)]	<p>保留復帰の呼び出し時間を秒単位で入力します。</p> <p> (注) [保留復帰の呼び出し時間 (Hold Reversion Ring Duration、秒)] をゼロに設定すると、この機能は無効になります。</p>
[保留復帰の通知間隔 (Hold Reversion Notification Interval)]	<p>保留復帰の通知間隔を入力します。</p> <p> (注) [保留復帰の通知間隔 (Hold Reversion Notification Interval)] をゼロに設定すると、この機能は無効になります。</p>
[デバイス <デバイス名> の複数コール/コール待機設定 (Multiple Call/Call Waiting Settings on Device <デバイス名>)]	
[コール最大数 (Maximum Number of Calls)]	<p>クラスタ内のデバイスの 1 つの回線に対して最大 184 のコールを設定できます。ただし、デバイスが制限要因となります。1 つの回線に対してコールの数を設定すると、別の回線に使用可能なコールが減少します。</p> <p>デフォルトは 4 です。電話機が回線ごとの複数コールを許可していない場合、デフォルトは 2 です。</p> <p>CTI ルート ポイントに対しては、各ポートに対して最大 10,000 のコールを設定できます。デフォルトは 5000 コールです。</p> <p>このフィールドは [ビジートリガー (Busy Trigger)] フィールドと併せて使用します。</p>
[ビジートリガー (Busy Trigger)]	<p>この設定は、[コール最大数 (Maximum Number of Calls)] および [話中転送 (Call Forward Busy)] と連動し、回線で表示されるコールの最大数を決定します。[コール最大数 (Maximum Number of Calls)] が 50 に設定され、[ビジートリガー (Busy Trigger)] が 40 に設定されている場合、着信コール 41 は話し中を理由として拒否されます (さらに [話中転送 (Call Forward Busy)] が設定されている場合は転送されます)。この回線が共有されている場合は、すべての回線が話し中になって、初めて着信コールが拒否されます。</p> <p>このフィールドは、CTI ルート ポイント用の [コール最大数 (Maximum Number of Calls)] と併せて使用します。デフォルトは 4500 コールです。</p>

表 58-2 リモート接続先プロファイル テンプレートに回線を追加する場合のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
[デバイス <デバイス名 > における、転送呼の情報表示 (Forwarded Call Information Display on Device <デバイス名 >)]	
[発信者名 (Caller Name)]	転送されたコールの受信時に、表示に発信者名を含めるには、このチェックボックスをオンにします。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。
[発信者番号 (Caller Number)]	転送されたコールの受信時に、表示に発信者番号を含めるには、このチェックボックスをオンにします。
[転送元番号 (Redirected Number)]	転送されたコールの受信時に、表示にリダイレクトされた番号を含めるには、このチェックボックスをオンにします。
[ダイヤル番号 (Dialed Number)]	転送されたコールの受信時に、表示にダイヤルされた番号を含めるには、このチェックボックスをオンにします。デフォルトの設定では、このチェックボックスはオンになっています。

その他の情報

詳細については、P.58-31 の「関連項目」を参照してください。

リモート接続先プロファイルのファイル形式

次のトピックでは、テキスト エディタを使用して作成する CSV データ ファイルのファイル形式設定に関する情報を提供します。

- テキスト エディタを使用したリモート接続先用 CSV データ ファイルの作成 (P.58-17)
- リモート接続先のファイル形式の検索 (P.58-17)
- リモート接続先プロファイルのファイル形式の設定 (P.58-18)
- ファイル形式と CSV データ ファイルの関連付け (P.58-22)
- リモート接続先プロファイル用のテキストベース CSV ファイルの作成 (P.A-27)

テキスト エディタを使用したリモート接続先用 CSV データ ファイルの作成

値がカンマで区切られた ASCII テキストを複数行使用して、カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成することができます。カンマ区切り値 (CSV) ファイルでは、テキスト情報は表形式で与えられます。リモート接続用のテキストベース CSV ファイルの詳細については、[P.A-27](#) の「[リモート接続先プロファイル用のテキストベース CSV ファイルの作成](#)」を参照してください。

デフォルトのリモート接続先のファイル形式は、修正することも削除することもできません。



(注)

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) スプレッドシートを使用して CSV データ ファイルを作成する場合は、スプレッドシート内でファイル形式を作成することができます。テキスト エディタを使用して CSV データ ファイルを作成する場合は、ファイル形式を作成するか、デフォルトのファイル形式を使用する必要があります。値は、テキストベースのファイルに、ファイル形式で指定されている順序と同じ順序で入力します。

その他の情報

詳細については、[P.58-31](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

リモート接続先のファイル形式の検索

リモート接続先のファイル形式を検索する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルのファイル形式 (Remote Destination Profile File Format)] > [ファイル形式の作成 (Create File Format)] の順に選択します。

[リモート接続先プロファイルのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ウィンドウの右上隅にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリスト ボックスで、[検索 / リストに戻る (Back to Find/List)] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。

ステップ 3 [検索 リモート接続先プロファイルのファイル形式、検索条件: 形式名 (Find Remote Destination File Format where Format Name)] ドロップダウンリスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

■ リモート接続先プロファイルのファイル形式

- [が次の文字列で始まる (begins with)]
- [が次の文字列を含む (contains)]
- [が次の文字列で終わる (ends with)]
- [が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [が空である (is empty)]
- [が空ではない (is not empty)]

ステップ 4 必要に応じて、適切な検索テキストを指定し、**[検索 (Find)]** をクリックします。



ヒント すべてのリモート接続先プロファイルの形式を検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索 (Find)]** をクリックします。

ステップ 5 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、**[絞り込み (Search Within Results)]** チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから **[AND]** または **[OR]** を選択して、**ステップ 3 ~ 4** を繰り返します。

ステップ 6 レコードのリストから、検索条件に一致するファイル形式名をクリックします。

[リモート接続先プロファイルのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

その他の情報

詳細については、[P.58-31](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

リモート接続先プロファイルのファイル形式の設定

次のトピックでは、リモート接続先プロファイルのファイル形式の作成、コピー、変更、または削除について説明します。

- [ファイル形式の作成 \(P.58-18\)](#)
- [ファイル形式のコピー \(P.58-20\)](#)
- [ファイル形式の修正 \(P.58-21\)](#)
- [ファイル形式の削除 \(P.58-22\)](#)

ファイル形式の作成

テキストベースの CSV データ ファイル用のファイル形式を作成する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **[一括管理 (Bulk Administration)]** > **[モビリティ (Mobility)]** > **[リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)]** > **[リモート接続先プロファイルのファイル形式 (Remote Destination Profile File Format)]** > **[ファイル形式の作成 (Create File Format)]** の順に選択します。

[リモート接続先プロファイルのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [形式名 (Format Name)] フィールドに、このカスタム形式の名前を入力します。

ステップ 3 [デバイスフィールド (Device Fields)] で、各リモート接続先プロファイルに定義するデバイスフィールド名を選択します。[デバイスフィールド (Device Fields)] ボックスで、デバイスフィールド名をクリックしてから矢印をクリックして、そのフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] ボックスに移動します。

CSV データ ファイルには、[Remote Destination Profile Name] および [Description] を含める必要があります。したがって、これらのフィールドは常に選択された状態になっています。



ヒント

Ctrl キーを押しながらリスト内の複数のフィールド名を任意に選択し、次に矢印をクリックすると、その複数のフィールドを同時に選択することができます。Shift キーを使用すると、特定範囲の項目を複数同時に選択することができます。

ステップ 4 [回線フィールド (Line Fields)] ボックスで回線フィールド名をクリックしてから矢印をクリックして、そのフィールドを [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] ボックスに移動します。



ヒント

[選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] および [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] の [ソート順 (Order)] ボックス内の項目の順序は変更できます。項目を選択し、上向き矢印を使用してその項目をリストの前方に移動させるか、または下向き矢印を使用してその項目をリストの後方に移動させます。

ステップ 5 [IP Phone サービスの最大値 (IP Phone Service Maximums)] 領域の [回線の最大数 (Maximum Number of Lines)] フィールドに最大値を入力します。

ステップ 6 カスタム ファイル形式を保存するには、[保存 (Save)] をクリックします。ファイル形式の名前が、[リモート接続先プロファイルのファイル形式の検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile File Formats)] ウィンドウの [名前 (Name)] リストに表示されます。

その他の項目

詳細については、[P.58-31](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

ファイル形式のコピー

CSV データ ファイルの既存の形式をコピーする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.58-17 の「リモート接続先のファイル形式の検索」の手順に従って、コピーするリモート接続先プロフィールのファイル形式を検索します。

ステップ 2 [検索結果 (Search Results)] 領域で、コピーするファイル形式を選択します。[リモート接続先プロフィールのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [コピー (Copy)] をクリックして選択されたファイル形式をコピーします。



(注)

[リモート接続先プロフィールのファイル形式の検索と一覧表示 (Find and List Remote Destination Profile File Formats)] ウィンドウで、対応する [コピー (Copy)] アイコンをクリックして、ファイル形式をコピーすることもできます。

ステップ 4 [形式名 (Format Name)] フィールドに、コピーした形式の新しい名前を入力します。

ステップ 5 次の方式のいずれかを使用して、コピーした形式を修正します。

- 新しいフィールドを追加するには、[デバイスフィールド (Device Fields)] ボックスまたは [回線フィールド (Line Fields)] ボックスからフィールドを選択してから矢印をクリックして、選択したフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] の [ソート順 (Order)] ボックスに移動します。
- フィールドを削除するには、[選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] の [ソート順 (Order)] ボックスからフィールドを選択してから矢印をクリックして、選択したフィールドを [デバイスフィールド (Device Fields)] ボックスまたは [回線フィールド (Line Fields)] ボックスに移動します。
- フィールドの順序を変更するには、[選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] の [ソート順 (Order)] ボックスのフィールド名を選択し、上向き矢印または下向き矢印を使用してフィールドの位置を変更します。

ステップ 6 変更を加えたら、[保存 (Save)] をクリックして、コピーしたファイル形式を変更内容とともにリストに保存します。

その他の項目

詳細については、P.58-31 の「関連項目」を参照してください。

ファイル形式の修正

CSV データ ファイルの既存のファイル形式を修正する手順は、次のとおりです。修正できるのは、カスタム形式だけです。

手順

ステップ 1 P.58-17 の「リモート接続先のファイル形式の検索」の手順に従って、コピーするリモート接続先プロファイルのファイル形式を検索します。

ステップ 2 [検索結果 (Search Results)] 領域で、修正するファイル形式を選択します。[リモート接続先プロファイルのファイル形式の作成 (Create Remote Destination Profile File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 次の方式のいずれかを使用して、コピーした形式を修正します。

- 新しいフィールドを追加するには、[デバイスフィールド (Device Fields)] ボックスまたは [回線フィールド (Line Fields)] ボックスからフィールドを選択してから矢印をクリックして、選択したフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] の [ソート順 (Order)] ボックスに移動します。
- フィールドを削除するには、[選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] の [ソート順 (Order)] ボックスからフィールドを選択してから矢印をクリックして、選択したフィールドを [デバイスフィールド (Device Fields)] ボックスまたは [回線フィールド (Line Fields)] ボックスに移動します。



(注) [Remote Destination Profile Name] および [Description] の必須フィールドは削除できません。

- フィールドの順序を変更するには、[選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] の [ソート順 (Order)] ボックスのフィールド名を選択し、上向き矢印または下向き矢印を使用してフィールドの位置を変更します。

ステップ 4 変更を加えたら、[保存 (Save)] をクリックして変更内容をファイル形式に保存します。

その他の項目

詳細については、P.58-31 の「関連項目」を参照してください。

ファイル形式の削除

CSV データ ファイルの既存のファイル形式を削除する手順は、次のとおりです。削除できるのは、カスタム形式だけです。

手順

-
- ステップ 1** P.58-17 の「リモート接続先のファイル形式の検索」の手順に従って、コピーするリモート接続先プロファイルのファイル形式を検索します。
- ステップ 2** [検索結果 (Search Results)] 領域で、削除するファイルが正しいことを確認し、チェックボックスをオンにして形式を選択します。
- ステップ 3** リストからファイル形式を削除するには、[**選択項目の削除 (Delete Selected)**] をクリックします。ファイル形式の削除を確認するメッセージが表示されます。[OK] をクリックして続行します。ファイル形式名がリストから削除されます。



(注) [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックする前に、表示された結果のリストを全部確認してください。

その他の項目

詳細については、P.58-31 の「関連項目」を参照してください。

ファイル形式と CSV データ ファイルの関連付け

テキスト エディタを使用して CSV データ ファイルを作成した場合は、テキストベースのファイルに値を入力するためのファイル形式をすでに作成したということになります。値は、ファイル形式で指定されている順序でテキスト ファイルに入力済みです。

CSV データ ファイルが完成したら、ファイル形式をテキストベースの CSV データ ファイルに関連付ける必要があります。ファイル形式を CSV ファイルに関連付けると、各フィールドの名前は CSV データ ファイルの最初のレコードとして表示されます。この情報を使用して、各フィールドの値を正しい順序で入力してあることが確認できます。

テキストベースの CSV データ ファイルでファイル形式を追加する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルのファイル形式 (Remote Destination Profile File Format)] > [ファイル形式の追加 (Add File Format)] の順に選択します。[ゲートウェイファイル形式の追加 (Add Gateway File Format)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このトランザクション用に作成したテキストベースの CSV ファイルを選択します。

- ステップ 3** [形式ファイル名 (Format File Name)] フィールドで、このタイプのバルク トランザクション用に作成したファイル形式を選択します。
- ステップ 4** [送信 (Submit)] をクリックして、一致するファイル形式を CSV データ ファイルに関連付けるジョブを作成します。
- ステップ 5** [一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 66 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.58-31 の「関連項目」](#) を参照してください。

リモート接続先プロファイルの挿入

[一括管理 (Bulk Administration)] メニューを使用すると、Remote Destination Profile (RDP; リモート接続先プロファイル) を一括して挿入できます。Cisco Unified Communications Manager の管理ページを通じて個々に更新する必要はありません。

始める前に

- 追加するデバイスには、Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) リモート接続先プロファイル テンプレートが必要です。
- リモート接続先プロファイルに固有の詳細を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。
- トランザクションのための該当ターゲットと機能を選択してデータ ファイルをアップロードします。

その他の項目

詳細については、[P.58-31](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager へのリモート接続先プロファイルの挿入

次の手順を使用して、リモート接続先プロファイルを Cisco Unified Communications Manager に挿入します。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルの挿入 (Remote Destination Profile Insert)] の順に選択します。

[リモート接続先プロファイルの挿入 (Insert Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、この固有のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

- ステップ 3** [リモート接続先プロファイルテンプレート (Remote Destination Profile Template)] ドロップダウン リスト ボックスで、このバルク トランザクション用に作成した BAT リモート接続先プロファイル テンプレートを選択します。



(注) リモート接続先プロファイルを挿入する場合は、リモート接続先プロファイル テンプレートはオプションです。リモート接続先プロファイル テンプレートを選択しない場合は、CSV データ ファイルに「Desk Phone Name」が含まれていることを確認してください。

- ステップ 4** [既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにすると、既存のリモート接続先プロファイルの設定が、挿入するファイルに含まれている情報によって上書きされます。

- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

- ステップ 6** [今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックしてリモート接続先プロフィールのレコードを即座に挿入するか、[後で実行 (Run Later)] をクリックして後で挿入します。
- ステップ 7** [送信 (Submit)] をクリックして、リモート接続先プロフィールのレコードを挿入するジョブを作成します。
- ステップ 8** [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 66 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.67-4 の「BAT ログ ファイル」](#) を参照してください。

その他の項目

詳細については、[P.58-31 の「関連項目」](#) を参照してください。

リモート接続先プロファイルの削除

[一括管理 (Bulk Administration)] メニューを使用すると、Remote Destination Profile (RDP; リモート接続先プロファイル) を一括して削除およびエクスポートできます。Cisco Unified Communications Manager の管理ページを通じて個々に更新する必要はありません。

カスタム ファイルを使用したリモート接続先プロファイルの削除

テキスト エディタを使用して、削除するリモート接続先プロファイルのカスタム ファイルを作成することができます。同一のカスタム ファイルの中に、MAC アドレスとデバイス名の両方を含めることができますが、電話番号は同じファイルに入れることはできません。複数のファイルを作成する必要があります。1 つのファイルには、デバイス名と MAC アドレスを含め、もう 1 つのファイルには電話番号を含めます。

始める前に

1. 削除する RDP について次の詳細のいずれかを記載するテキスト ファイルを作成します。
 - [名前 (Name)]
 - [説明 (Description)]
 - [デバイスプール (Device Pool)]
 - [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]
2. テキスト ファイルで 1 行に 1 項目ずつ配置します。
3. カスタム ファイルを Cisco Unified CallManager サーバにアップロードします。ファイルのアップロードの詳細については、P.2-5 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている RDP を削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロファイルの削除 (Remote Destination Profile Delete)] の順に選択します。

[リモート接続先プロファイルの削除 (Delete Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [削除 リモート接続先プロファイル、検索条件: (Delete Remote Destination Profile where)] ドロップダウン リスト ボックスで、作成したカスタム ファイルのタイプを次のいずれかの条件から選択します。

- [名前 (Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]

ステップ 3 カスタム ファイルのリストで、この削除用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。

ステップ 4 [検索 (Find)] をクリックします。検索条件に一致する RDP のリストが表示されます。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

- ステップ 6** [今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックして RDP レコードを即座に削除するか、[後で実行 (Run Later)] をクリックして RDP レコードを後で削除します。
- ステップ 7** [送信 (Submit)] をクリックして、RDP レコードを削除するジョブを作成します。
- ステップ 8** [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。
-

その他の項目

詳細については、[P.58-31](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

リモート接続先プロフィールのエクスポート

エクスポートユーティリティを使用すると、複数の Cisco Unified CallManager サーバ上のレコードを 1 台の Cisco Unified CallManager サーバにマージできます。Cisco Unified CallManager サーバから別の Cisco Unified CallManager サーバにレコードを移動する手順は、次のとおりです。

リモート接続先プロフィールのエクスポートの使用

リモート接続先プロフィールの詳細をエクスポートする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先プロフィール (Remote Destination Profile)] > [リモート接続先プロフィールのエクスポート (Remote Destination Profile Export)] の順に選択します。

[リモート接続先プロフィールのエクスポート (Export Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の [検索 リモート接続先プロフィール、検索条件：(Find Remote Destination Profile where)] ドロップダウンリストボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [名前 (Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]

2 番目の [検索 リモート接続先プロフィール、検索条件：(Find Remote Destination Profile where)] ドロップダウンリストボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる (begins with)]
- [が次の文字列を含む (contains)]
- [が次の文字列で終わる (ends with)]
- [が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [が空である (is empty)]
- [が空ではない (is not empty)]

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント

データベースに登録されているすべてのリモート接続先プロフィールを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 4 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにし、ドロップダウンボックスから [AND] または [OR] を選択して、ステップ 2～3 を繰り返します。

ステップ 5 [検索 (Find)] をクリックします。

検索されたリモート接続先プロファイルが、次の項目別に表示されます。

- [名前 (Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]



(注) ジョブを送信する前に、表示された結果のリストを全部確認してください。

ステップ 6 [次へ (Next)] をクリックします。

次の[リモート接続先プロファイルのエクスポート (Export Remote Destination Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 [ファイル名 (File Name)] フィールドにエクスポート ファイル名を入力します。

ステップ 8 [ファイル形式 (File Format)] ドロップダウン リスト ボックスで、ファイル形式を選択します。

ステップ 9 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。デフォルトの説明は、「Delete Remote Destination Profiles」です。

ステップ 10 [今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックしてリモート接続先プロファイルのレコードを即座にエクスポートするか、[後で実行 (Run Later)] をクリックして後でエクスポートします。

ステップ 11 [送信 (Submit)] をクリックして、リモート接続先プロファイルのレコードを削除するジョブを作成します。

ステップ 12 [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、[第 66 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、[P.67-4 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。

Default Remote Destination Profile ファイル形式

Default Remote Destination Profile ファイル形式オプションを使用してリモート接続先プロファイルのレコードをエクスポートする場合は、そのリモート接続先プロファイルに関連付けられた各種の回線アトリビュートとともにレコードをエクスポートします。クエリーを使用してレコード数を制限することはできません。

表 58-3 に、Default Remote Destination Profile Format ファイル形式を選択した場合にエクスポートされるフィールドを示します。

表 58-3 Default Remote Destination Profile ファイル形式でエクスポートされるフィールド

フィールドの種類	エクスポートされるフィールド
デバイス フィールド	Remote Destination Profile Name、Description、User ID、Device Pool、CSS、AAR CSS、Media Resource List、User Hold Audio Source、Location、Privacy、Device Presence Group、Rerouting CSS
回線フィールド	Directory Number、Partition、Voice Mail Profile、Line CSS、AAR Group (Line)、Line User Hold Audio Source、Line Network Hold Audio Source、Forward All Destination、Forward All CSS、Forward Busy Internal Destination、Forward Busy Internal CSS、Forward Busy External Destination、Forward Busy External CSS、Forward No Answer Internal Destination、Forward No Answer Internal CSS、Forward No Answer External Destination、Forward No Answer External CSS、Forward No Coverage Internal Destination、Forward No Coverage Internal CSS、Forward No Coverage External Destination、Forward No Coverage External CSS、Forward No Answer Ring Duration、Call Pickup Group、MLPP Target、MLPP CSS、MLPP No Answer Ring Duration、External Phone Number Mask、Maximum Number Of Calls、Busy Trigger、Alerting Name、Alerting Name ASCII、Display、Line Description、Line Presence Group、Secondary CSS For Forward All、ASCII Display、Forward On CTI Failure Destination、Forward On CTI Failure CSS、AAR Destination Mask、Forward Unregistered Internal Destination、Forward Unregistered Internal CSS、Forward Unregistered External Destination、Forward Unregistered External CSS、Hold Reversion Ring Duration、Hold Reversion Notification Interval

その他の情報

詳細については、P.58-31 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [リモート接続先プロファイル テンプレート \(P.58-1\)](#)
- [リモート接続先プロファイルのファイル形式 \(P.58-17\)](#)
- [リモート接続先プロファイルの挿入 \(P.58-24\)](#)
- [リモート接続先プロファイルの削除 \(P.58-26\)](#)
- [リモート接続先プロファイルのエクスポート \(P.58-28\)](#)

